

小林芙蓉書画展及び中日書道友好交流会

期日： 2016年6月6日（月） 10:00～16:30

場所： 中国人民对外友好協会 和平宮二階

10:00～展示自由見学

13:30～入場開始

14:00 開幕式、テープカット、
御挨拶、揮毫・贈呈

14:40～16:20 実演と交流会

16:30 閉会

主催者： 小林芙蓉後援会

中国对外友好合作服務中心

協力者： 中国書画院

北京市徐悲鴻中学校

北京市和平里第九小学校

後援者： 中国人民对外友好協会

中国駐在日本大使館

媒体： 人民網、新華網、CRI 等



現在でも、多くの優秀な方がそれぞれのフィールドで、中国と日本との交流をはかっておられます。小林芙蓉はじめ本後援会も、「書画」という芸術を通じて中国の皆様との友好、そしてアジア全体の平和を実現していきたいと願っています。特に中国は、同じ筆文化を持ち、もともとは同じ漢字をつかってきました。中国と日本は、これだけ長い間文化交流を重ね、お互いのことをよく知っている間柄です。こんなに共通点が多いのですから、きつともっと仲良くなれるに違いありません。そして、古くからの北の要衝であり、国家首都である北京。西安から始まった中日の文化交流が、北京という栄えある場所で結実する喜びを強く感じます。今回を起点として、国や政治の垣根を越えてますますお互いが交流し、理解し合い、愛し合う。中国と日本がそんな関係になれるよう、中国への感謝と親愛をこめてまいらせていただきます。

小林芙蓉の信念与主张

我以书画为媒介，以促进国际友好为目的，走访了很多国家，努力推广着“毛笔下的精神”。我认为，世上唯有艺术才能超越语言的障碍。我相信以高尚的人格为目标，不断地磨练自己，最终定能写出动人心弦的书法作品。古人云：字乃为人也。我在研墨时总会在心中祈念人们能彼此体谅、社会能更加和谐，心里一切皆空灭我。与其说我在写字，不如说一种看不见的伟大而神奇的力量在促使我写字。并非我在运笔而是毛笔自然而然地行走，这是一种最高的修行。研墨时水质的好坏决定发墨，用清澈的水研下来的墨色特别美。我在冰箱里混合保存 700 种以上的国内外的清水和圣水，这些水也用于研墨。我祈念通过水的融合能实现世界和平。自从我书写象形字时一刹那的灵光闪现，让我领悟到我今后的使命当为：将文字里隐藏着的爱，传递到人们的灵魂里。为了更好的传递，优质水是不可缺少的。我衷心希望全世界人民能持有珍爱水源、保护水质、防止水污染的意识，这也是我的心愿和主张。

如今，开始了让世界人民了解东方的毛笔文化并将其推广的运动。我专心致力于日本、中国及韩国书画家的共同主题——“阴和阳”、“静和动”以及“闲寂与古雅风趣”等东方哲学。